

**ユニバーサルビーチ周辺施設のあり方に関する研究**  
**ユニバーサルビーチに隣接する施設を対象として**  
**A study on way of facilities around Universal Beach**  
**For facilities adjacent to Universal Beach**

○鈴木海人<sup>1</sup>, 山本和清<sup>2</sup>, 宮崎渉<sup>3</sup>  
 Kaito Suzuki<sup>1</sup>, \*Kazukiyo Yamamoto<sup>2</sup>, Wataru Miyazaki<sup>3</sup>

In recent years it has been changing to the age of enjoying sea as well as young and old and disabled. In 1997 Universal Beach was born for the first time at Oarai Sun Beach. On the universal beach, beach mats and Hippo camps have been introduced and wheelchair users can enjoy the ocean as well. However, it is unclear whether barrier-free is done in facilities around Universal Beach. The purpose of this research is to investigate the situation of barrier free of the surrounding facilities of the three beach which currently tackle to universal beach. In this survey, it was revealed that the barrier-free formation of surrounding facilities is not enough and that managers are seeking efforts to make barrier-free. In this research we will consider ways to solve the problem. So it is urgent for Universal Beach to promote development based on peripheral facilities as well.

### 1. はじめに

近年、海のバリアフリー化が進み年齢や障がいに関わらず海を楽しむ時代へと変化している。1997年より大洗サンビーチ海水浴場がバリアフリービーチとしてスタートし、現在はユニバーサルビーチとなり、年齢、障がい問わず誰もが一緒に楽しめるビーチを提唱している。ビーチ内を車いすで走ることのできるビーチマットやランディーズ等が導入され、年齢、障がいを問わず誰もが円滑に利用可能な海水浴場として取り組みが行われている。

現在は、大洗サンビーチ海水浴場（茨城県大洗町）をはじめ、若狭和田海水浴場（福井県高浜町）と須磨海水浴場（兵庫県神戸市）による3つの海水浴場がユニバーサルビーチ化へと取り組み老若男女、障がいを問わず快適に利用可能な海水浴場として幅広い利用者の誘致に成功している。

しかし、取り組みの一方で周辺の駐車場や道路、公園等の整備状況はいまだ明らかでないことから、利用者がユニバーサルビーチの周辺施設を踏まえて利用できているかという点では明かされていない等問題を抱えている。

### 2. 研究目的

現在、ユニバーサルビーチの取り組みを行っている海水浴場に隣接する駐車場、道路、公園をバリアフリー法と比較し基準に適合しているかを調査する。そしてユニバーサルビーチを周辺施設を踏まえ年齢、障がい問わず誰もが円滑に利用しやすくなる方法を検討する一助となる知見を得ることを目的とする。

### 3. 調査対象地

調査対象地は、現在ユニバーサルビーチへの取り組みを行っている3つの海水浴場に隣接する公園、道路、駐車場の周辺施設を調査対象地とする。（Figure1.）

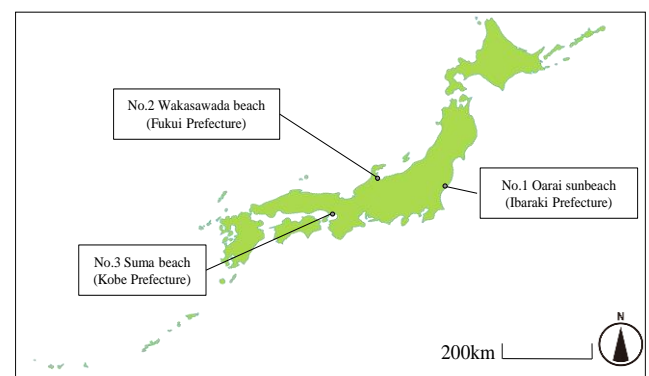


Figure 1. Survey target area

### 4. 研究方法

#### 4.1 アンケート調査

選定した3つの海水浴場に隣接する周辺施設の管理者に向けたバリアフリー法に関する意識調査及び、ユニバーサルビーチ化への取り組みによる当該施設への影響や今後の取り組みを把握し、現在の実態を明らかにする。アンケート概要をTable1.に示す。

Table1. question overview

Survey area	Oarai sun Beach Wakasawada Beach Suma Beach
Those surveyed	Facility administrator
Research methods	Questionnaire survey by mail or hearing
Investigation period	From September 12, 2018
Investigation	Recognition for Barrier-Free, Current problem future prospects

1：日大理工・学部・海建 2：日大理工・教員 3：日大工・教員・建築

## 4.2 実測調査

選定したユニバーサルビーチ周辺施設がバリアフリー法の基準に適合しているかを実測調査し、当該施設のバリアフリー法における適合率と現在の実態や整備状況を明らかにする。

## 5. 研究結果

### 5.1 大洗サンビーチ海岸管理者意識と今後の取り組み

今回アンケート調査により、海岸管理者はユニバーサルビーチに盲導犬エリアの新設を検討するなど、新たな改善点を検討していることや、当該海水浴場では、まだ一部のバリアフリー化しか進んでいないこと等、現状の体制に満足していないことがわかった。

今後の取り組みとしては、新たなバリアフリー施設を作ることよりも利用者への周知やコミュニケーションをより密接に取ることが必要と考えており、ハード面よりもソフト面の充実を求めていることが明らかになった。

### 5.2 大洗サンビーチ周辺施設管理者意識と今後の取り組み

今回のアンケート調査では、周辺施設管理者はユニバーサルビーチへの取り組みによる変化やバリアフリー法について認知していることが分かった。当該施設のバリアフリー法の現状には管理者も満足しておらず、求めている設備や機能があるにも関わらず、改修等については所有者の意向が大きいなどを理由に具体的な取り組みは行われていないという結果になった。

### 5.3 当該施設のバリアフリー適合率について

実測調査にて、茨城県大洗サンビーチに隣接する海岸駐車場、国道 51 号線、大洗海浜公園のバリアフリー法適合率が明らかにした。(Figure2.)

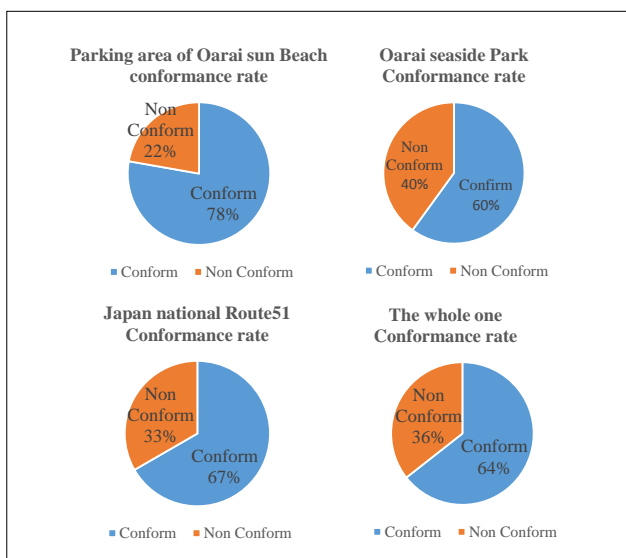


Figure 2. Barrier-free law conformance rate

大洗サンビーチの駐車場では、車いす使用者が円滑に利用できる駐車施設は 15 台設けられていたものの幅員や設置台数が基準に適合していないことなどの課題が見られた。

次に、大洗サンビーチ前を通る国道 51 号線では、歩道の有効幅員が基準に適合していないことや、視覚障がい者用誘導ブロックの設置がないこと、案内標識はあるものの音声による案内はないことが明らかになり年齢、障がいを問わずに誰もが円滑に利用できるとは言い難い現状であることが把握できた。

大洗海浜公園では、案内標識が少ないことや視覚障がい者用誘導ブロックが設置されていない、園路が整備されておらず凹凸が目立つ等、車いす使用者や視覚障がい者が利用するには整備が不十分であり、大洗海浜公園でも年齢、障がいを問わずに誰もが円滑に利用できるとは言い難い現状が明らかになった。

そして、全体での非適合率は 36% となり、様々な問題を抱えている。特に視覚障がい者が施設を円滑に利用することは困難であり、誰もが快適に利用可能な施設とは言い難い状況であることが明らかになった。

今後、大洗サンビーチ海水浴場の他に、若狭和田海水浴場、須磨海水浴場でのアンケート調査と実測調査を行い海岸管理者及び周辺施設管理者のバリアフリー化に対する意識と今後の取り組み、バリアフリー法の適合率を明らかにしていく。

## 6. まとめ

調査結果より、ユニバーサルビーチを年齢、障がい問わず誰もが円滑に利用できるためにはビーチと周辺施設も踏まえての整備を進めていくことが急務であることが把握できた。いずれも管理者は現状のユニバーサルビーチやバリアフリーの体制には満足していないため、より具体的な整備が必要である。

ユニバーサルビーチではバリアフリー法のような海岸に特化した高齢者、障がい者が円滑に利用できる基準の策定が必要であり、ユニバーサルビーチに隣接する施設ではバリアフリー法を促進することが必要であると考える。

## 7. 参考文献

- [1] 国土交通省：「都市公園の移動等円滑化ガイドライン 改訂版」, URL: <http://www.mlit.go.jp/common/000224238.pdf>, 平成 24 年
- [2] 国土交通省：「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」 URL: <http://www.mlit.go.jp/common/000207246.pdf>, 平成 18 年
- [3] 国土交通省：「移動円滑化のために必要な特定路外駐車場の構造及び設備に関する基準を定める省令」, URL: <http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/shinpou/tyuusyajyou-kijyun.html>, 平成 18 年
- [4] 国土交通省：「バリアフリー新法の解説」 URL: [http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu\\_html](http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu_html), 平成 24 年
- [5] 井上雅夫ほか 2 名：「海水浴場のバリアフリーに関する現地調査—ユニバーサルビーチの創造を目指して—」, 海岸工学論文集, 第 48 巻, pp. 1341-1345, 平成 12 年
- [6] 井上雅夫ほか 4 名：「高齢者の海岸利用, 特に海水浴場に関する意識調査」, 海岸工学論文集, 第 47 巻, pp. 1301-1305, 平成 13 年
- [7] 静岡ユニバーサルデザイン専門委員会：「ユニバーサルデザイン入門」, 平成 14 年